

# 「生活道路対策エリア」の取組事例(栃木県宇都宮市陽東地区)

狭さく・

歩行空間の確保(外側線敷設)

うつのみや ようとう

- 陽東地区は、国道123号や県道64号などの幹線道路に囲まれ、大学や小学校が立地
- ビッグデータの分析から、30km/h超過割合・平均速度が高い危険な状況であることを確認
- 陽東小学校西側区間に、速度抑制対策として、狭さく(3箇所)を設置  
歩行者の安全確保として、歩行空間の確保(外側線敷設)を実施
- 陽東小学校西側区間では、30km/h超過割合が19ポイント減少、平均速度は4km/h減少  
北側・中央の狭さく部では、平均速度が20km/h未満に低下
- 効果検証結果の地元説明を踏まえ、今後は歩行空間の確保(外側線敷設)の継続を実施

## 取組の概要

## ビッグデータ分析結果



ワーキンググループ実施状況

### ○ワーキンググループの開催

関係機関で構成されるワーキンググループを開催し、生活道路の安全対策を検討

- H28. 7: 既存データや現地踏査による実態把握
- H28. 12: エリアの課題、対策方針の確認
- H29. 4: 進め方の確認
- H29. 8: 対策案のとりまとめ、効果計測の方法
- H29. 12: 実証実験計画、地元や記者発表等の周知状況
- H30. 3: 実証実験の実施状況、効果計測の結果(速報)
- H30. 7: 実証実験効果計測の結果(詳報)、今後の予定



資料: ETC2.0プローブデータ(対策前H28.4~29.3、対策中H30.2.23~30.3.7)

## 整備状況

## 整備効果



狭さく(3箇所)を設置(H30.2.23~3.8)、外側線を敷設(H30.2.23~)

### ○速度指標の変化状況

	30km/h超過割合		平均速度		
	エリア全体	陽東小学校西側区間	エリア全体	陽東小学校西側区間	狭さく部(中央・北側区間)
対策前	32%	47%	23km/h	28km/h	27km/h
対策中	32%	28%	23km/h	24km/h	19km/h

(±0%) (▲19%) (±0km/h) (▲4km/h) (▲8km/h)

【出典】1:履歴点データ:ETC2.0プローブデータ(対策前H28.4~29.3、対策中H30.2.23~30.3.7)  
2:背景地図:国土地理院